学校番号	1205

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語読解	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	論理的に読む　論読　現代文１　（浜島書店） 高校国語の学習　ことばと漢字　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座では、様々な種類の文章を読み、演習問題を解いていくことで、更なる国語力の向上を目的としています。また、漢字、慣用句、ことわざ等についての学習を通して、豊かな語彙の獲得を目指します。

授業ではまず一緒に問題文を読み、本文の内容を整理します。それから問題を自分で解き、解答解説をしていきます。基本的に宿題の提出はありませんが、定期的にワークを提出してもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々な文章の読解や、漢字等の学習を通して、語彙を豊かにし、基本的な国語常識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的な思考能力を養い、適切に自己の考えを表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な文章に触れることにより、多様な考えやものの見方に触れ、自身の考えを深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な漢字の読み書きや、文法事項、表現方法などを理解し、適切に使用することができる。	各文章を読み解き、筆者の主張や話の筋を理解している。また「書くこと」「読むこと」の各領域において、読み取った内容を言語化することができる。	授業内で取り組んだ内容や疑問を積極的に発言することができる。また作文やワーク内にあるレポート課題について、十分に指示を理解し、文章化して提出することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の立てた問いからその主張を理解する。 ［教材］ 「ココロの止まり木」 「美術の核心」 「動物と人間の世界認識」他	a：文中で用いられている語の意味を適切にとらえることができる。 b[読]：文章の問いの文に着目し、その答えに至る根拠を読み取ることができる。 c：読み取った内容を自分の言葉で表現することができる。	定期考査	定期考査	ワーク
	漢字や慣用句などについて学び、語彙を豊かにする。 ［教材］ 「漢字の読み」 「漢字の書き取り」 「語句・慣用句」他	a：基礎的な国語常識について正しく理解する。 b[書]：漢字や慣用句などを適切に使用することができる。 c：慣用句などについて、その由来や意味に興味を持ち、意見することができる。	定期考査	定期考査	ワーク
2	物語の筋をつかみ、登場人物の描写から心情をつかむ。 ［教材］ 「県庁おもてなし課」 「ステップ」 「少女は卒業しない」他	a：物語に登場する心理描写を適切につかむことができる。 b[書]：物語の筋や登場人物の心情を理解し、自分の言葉で表現することができる。 c：自分の感想を適切な表現で文章化することができる。	定期考査	定期考査	ワーク
	敬語や手紙の書き方などの基本を学ぶ。 ［教材］ 「敬語」 「手紙の書き方」	a：敬語の種類や使い分けについて適切に理解する b[書]：敬語を適切に用いて表現することができる。 c：適切な言葉づかいで手紙文を書くことができる。	定期考査	定期考査	ワーク
3	具体例や対比の関係をつかみ、そこから導かれた意見を読み取る。 ［教材］ 「悩みぬいて最強たれ」 「庭と日本人」 「朝顔は闇の底に咲く」他	a：文章に用いられている言葉の定義をおさえ、的確に理解することができる。 b[読]：具体例や対比から導かれた意見を読み取ることができる。 c：読み取った内容を整理し、まとめることができる。	定期考査	定期考査	ワーク

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間